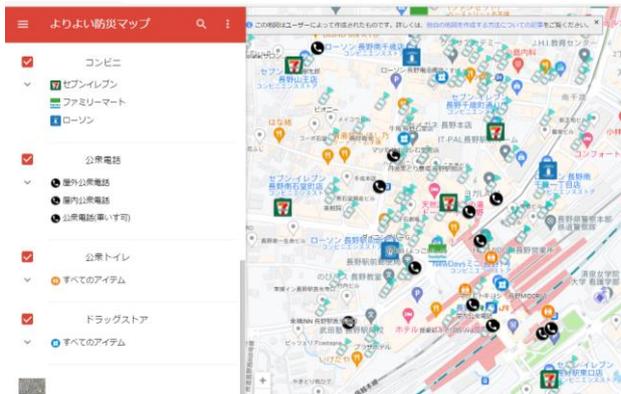


D-8

ぼうさい よりよい防災マップ

よりよい防災マップとは

災害時に必要な情報を素早く正確に確認できるデジタル版防災マップ。研究チーム内には台風19号被災経験者がいる。『よりよい防災マップ』は、災害時の生活支援に役立ち、日頃から防災意識を高めたいという願いから生まれた。マップには、避難所、コンビニ、フリーWi-Fi、公衆トイレ、公衆電話、災害バンダー、コインランドリー、携帯ショップ等の場所も掲載。長野市内約1,300箇所のデータが入っている。Googleマイマップを利用した『よりよい防災マップ』を開くと、生活支援に役立つ情報が入手できる。信州防災アプリ、長野県防災の公式アカウントなどへのリンクがあり、リアルタイムに正確な情報を提供できるように工夫した。



←実際の『よりよい

ぼうさい
防災マップ』画面



- ・長野県防災の公式Twitter
- ・重ねるハザードマップ(国土地理院)
- ・信州防災アプリダウンロードリンク



掲載されているデータ→

〈 活動の経緯 〉

ポヨヨグラムチーム考案のマップは、信州 共生みらいアイデアコンテスト 2020 でソフトバンク地域応援賞 受賞。その後、(株) ソフトバンク CSR担当者や長野県庁 職員 にマップ作成のアドバイスをいただいた。また、このマップは「誰一人取り残さない社会の実現」に役立つとして信州SDGs アワード 2021 で県知事賞（高校生部門）を受賞。台風19号被災者へのインタビューや長野駅前等でアンケートも実施した。

その後、スマホやパソコンを使用しない方向けにアナログ版マップを作成し、安茂里公民館に掲示。マップ普及のため、QRコード付きステッカーを作成し長野市内300ヶ所以上に配布。現在は共生社会実現に向け、多言語化に取り組んでいる。



← 安茂里公民館での説明会

QR コード付ステッカー→

